

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	経済部企業誘致室	直通電話	72-3158	事業コード	104050103	課内	6	作成日	平成15年8月11日
事	担当者	担当者	鍋谷 英幸	担当課長	池田 幸夫	担当部長	石黒 嗣康		

1 事業のアウトライン

1) 事業名	サハリン石油・天然ガス開発プロジェクト石狩後方支援基地推進協議会負担金			開始年度	H9	終了年度	未定
				最近の事業内容見直し年度	H14		
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目					
	1040501	港湾の整備 / 石狩湾新港 港湾利用の促進					
	5030101	工業の振興 / 企業誘致・操業の促進					
3) 個別計画での位置付け							

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	石狩湾新港の利用促進と後背地への企業立地の促進並びに操業企業のビジネスチャンスを創出する。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	石狩湾新港地域をロシア連邦サハリン島周囲の大陸棚で進められている石油・天然ガスの開発に関連する建設用資機材の保管・組立・加工拠点や生活関連物資を供給する支援拠点とする。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	次の事業を行っている「サハリン石油・天然ガス開発プロジェクト石狩後方支援基地推進協議会」に活動費の一部を負担する。 現地駐在員や関係団体を通じて、サハリン開発プロジェクトの動向や関係工事等の受発注状況などの情報収集活動 後方支援基地の実現に向けた石油メジャー・国内商社・エンジニアリング会社などへの訪問セールスと関係者の招へい活動
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	サハリン開発プロジェクト関連工事等の受発注の動向の情報収集、受注企業及び受注可能性の高い企業を中心とした訪問セールス活動に重点を置き取り組んだ。
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	サハリン石油・天然ガス開発プロジェクトの投資額は、先行するサハリン1、2だけで投資金額約220億ドル以上といわれている。また、建設用資機材や建設労働者用生活物資の大半をロシア国外から調達しなければならず、しかも、サハリンの港湾事情から沿海地域に物流拠点が必要となることから、サハリン島に隣接する北海道においては、稚内市や函館市などで同種の団体を設置し誘致活動を行なっている。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	1,000	2,000	2,000	1,000	負担金	2,000	
2) その他の間接経費(千円)							
3) 従事正職員の人件費(千円)	2,958	2,985	6,176				
総事業費(1~3の合計;千円)	3,958	4,985	8,176			H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	3,958	4,985	8,176				
市民一人当たり一般財源使用額(円)	72	90	146				
事務に従事した正職員のべ人数	0.36人	0.36人	0.75人				

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
サハリンでのプロジェクト関係企業訪問数(社)	目標値	未設定	未設定	未設定	0	15年度からは、年度当初の事業計画をもとに目標値を設定することにした。
	実績値	22	0	24		
	達成率					
石狩市へ招へいしたプロジェクト関係者(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	7	状況に応じて臨機応変に活動しており、事前の目標設定をしていなかったが、15年度においては、目標値を設定した。
	実績値	16	7	3		
	達成率					
国内でのプロジェクト関連企業訪問数(社)	目標値	未設定	未設定	未設定	15	状況に応じて臨機応変に活動しており、事前の目標設定をしていなかったが、15年度においては、目標値を設定した。
	実績値	5	7	2		
	達成率					

5 事業の成果

事業名：サハリン石油・天然ガス開発プロジェクト石狩後方支援基地推進協議会負担金

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
プロジェクト関連港湾取扱貨物量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	17,000	開発プロジェクトの進捗状況を勘案し、その年度内に可能性があると判断される石狩湾新港で取り扱われる貨物量	関係企業、港湾管理者等から聞き取り
	実績値	0	0	0	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
プロジェクト関連事業受注地域内企業数(社)	目標値	未設定	未設定	未設定	5	開発プロジェクトの進捗状況を勘案し、その年度内に可能性があると判断される石狩湾新港地域内の受注企業数	関係企業、現地駐在員等から聞き取り
	実績値	0	0	0	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	サハリンプロジェクト1・2が着実に進捗する中、サハリン現地の関連企業訪問を実施し、石狩湾新港及び石狩湾新港地域操業企業のPRを着実に実行することができ、将来への布石を打つことができた。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要なとされているか	上記事業活動の結果、国内企業から石狩湾新港地域操業企業へ接触があるなど、将来的な受注可能性が高まってきていることから、事業は有効であると判断した。また、サハリンプロジェクトにおける現地情報の効率的な収集は必要であると判断した。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	サハリンプロジェクト関連企業へ石狩湾新港及び石狩湾新港地域の有用性を認知させるには、個々の企業情報はもとより、地域全体の情報を漏れなく提供しなければならず、その公平性の観点から市が一定程度関与すべきであり、現行の負担率は極めて妥当と判断した。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	同協議会は、サハリンプロジェクトの進捗状況に応じて接触先を検討し直すなど、臨機応変に対応できているが、今後も激変するサハリンビジネス情勢に対応が可能かどうか、予測の範囲を超えた場合には事業の見直しが必要とされる。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)	B
	現地における工事発注も進み、国内企業から石狩湾新港地域操業企業へ接触があるなど、将来的に受注の可能性が高まってきていることから、良好と判断した。		14年度における実績は無いが、相手先の感触は良く、事業発注先が決まっていなかった時期における、当事業の評価としては良好であるとする。		

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	情報提供先を国内企業に重点をおくべく、事業規模を縮小されることになるが、今後も激変するサハリンビジネス情勢に対応が可能になるよう、臨機応変な事業の見直しが求められると考える。
最終評価	サハリンプロジェクトが進むにつれ、事業発注の仕組みなどプロジェクトの内容が明らかになりつつある。今後は、これらの情報を総合的に分析し、事業を見直ししながら効果をあげていく必要があると考える。

9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向	*	
	統合 休・廃止		
上についての説明	[課長]協議会総予算を50%に縮小し、市負担金半額とした。[室長]協議会総予算を1/4程度に縮小し、市負担金1/4とした。		

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 経済部企業誘致室参事

事業名： サハリン石油・天然ガス開発プロジェクト石狩後方支援基地推進協議会負担金

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	サハリン・石油天然ガス開発プロジェクト石狩後方支援基地推進協議会負担金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	サハリン・石油天然ガス開発プロジェクト石狩後方支援基地推進協議会 (代表者:会長 石狩市長 田岡 克介 構成員:石狩市他50団体・企業)
活動(事業)目的	サハリン石油・天然ガス開発プロジェクトの進展に応じて、石狩地域がこれら開発プロジェクトに係る人・物・情報等の供給地、中継地としての機能、さらには石油・天然ガスの利用について、その役割を担うための必要な調査研究及び誘致要請活動を行ない、支援基地の形成をもって地域の振興に資することを目的とする。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	会議費	256	256	127	127	128	128	37	37
	調査研究費	558	558	650	650	676	676	648	648
	誘致活動費	7,525	7,525	2,652	2,652	2,099	2,099	1,376	1,376
	事務費	143	143	29	29	22	22	50	50
	借入金返済金	0	0	1,812	1,812	1,013	1,013	0	0
	次年度繰越金	230	0	0	0	102	102	12	12
	歳出合計	8,712	8,482	5,270	5,270	4,040	4,040	2,123	2,123
歳入決算 (予算)状況	サハリン・石油天然ガス開発プロジェクト石狩後方支援基地推進協議会負担金	1,000	11.5%	2,000	38.0%	2,000	49.5%	1,000	47.1%
	会費	2,010	市の補助負担金への依存度	2,040	市の補助負担金への依存度	2,040	市の補助負担金への依存度	1,020	市の補助負担金への依存度
	繰越金	3,852		230		0		103	
	雑収入	50		0		0		0	
	借入金	1,800		1,000		0		0	
	歳入合計	8,712		5,270		4,040		2,123	
補助・負担対象経費の内容	活動費の全額								
補助・負担金額の算定方法	定額(H12年度まで年間1,000千円 H13.14年度年間2,000千円 H15年度年間1,000千円)								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
サハリンでの現地企業訪問数(社)(再掲)	22	0	24	0
石狩市へ招へいした関係者(人)(再掲)	16	7	3	7
国内での企業訪問数(社)(再掲)	5	7	2	15
協議会会員数(社/団体)	50	51	51	51
平成14年度活動(事業)実績	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリンプロジェクト関係企業訪問 ・プロジェクト関係者招へい ・国内企業訪問 			

4 特記事項

--